

【銀賞】

『おいしいわくわくするおこめ』

宮崎市立大淀小学校 2年 糊田 侑愛

わたしのいえでは、休みの日によるごはんをかぞくみんなでいっしょにたべます。みんなでわいわいもりあがってたべるから、たのしいです。とくに、たのしみなのは、やき肉と手まきずしのときです。やき肉はお肉についたかれがしみたごはんが、さいこうにおいしいからです。手まきずしは、のりの上にすめしをひろげて、すきなぐをくるくるまいてたべると、しあわせな気もちになるからです。かぞくみんなから、

「ごはんがすすむね。」

と、びっくりされます。たくさん、たくさん、ごはんがすすんで、とてもおいしいです。

わたしがたべているおこめは、おじいちゃん、おばあちゃんがいっしょけんめいつくっています。五月のたねまき、六月の田うえ、九月のいねかりはしんせきがあつまって、みんなです。わたしもお手伝いします。

とくに、今年、わたしががんばったのは、田うえのときです。わたしは、いねのなえが入っていたはこをあらいました。どろを力いっばいこすりました。とちゅう、つかれたけどがんばりました。十こずつかさねていたら、ぜんぶで百三十こありました。

おじいちゃんは、水のかんり、草をとること、たいふうからまもることがたいへんだと教えてくれました。あきになつていねの頭がさがっていると、おこめがしっかりみっていると話してくれました。

あきになつて、しんまいをたべるのがたのしみです。カレーかほいこうろうかおもちでたっぷりとたべたいです。かんしゃの気もちもたっぷりもってたべたいです。